## 中学生の熱い思いを、自らの言葉で胸打つエピソードを英語で披露

「第24回内子町中学校英語弁論大会」が9月25日、共生館で開かれました。町内4校から代表12人が出場し、将来の夢などを題材に発表。最優秀賞の石岡信之介（しんのすけ）さんは野球をテーマに「初めて満塁ホームランを打った日にちなんだ背番号『33』は、僕に自信をくれる特別なもの。この番号と共に、競技を通じて成長し続けたい」と熱弁しました。






上＿試合の緊張や勝利の喜びを表情豊かに語る石岡さん
下＿参加者で一緒に記念撮影

上位入賞者と弁論タイトル

| | |
|---|---|
| 1位 | 石岡信之介（しんのすけ）さん（大瀬中3年）<br>「Jersey number 33」 |
| 2位 | 溜水　光咲（みさき）さん（大瀬中3年）<br>「More than Words」 |
| 3位 | 大﨑　天地（てんち）さん（内子中3年）<br>「Just Jump in」 |

※1位の石岡さんには青少年海外派遣事業の派遣団員になれる権利が与えられます。

## 企業の脱炭素化など支援へ
## NTT西日本と内子町が包括連携協定

NTT西日本㈱と内子町による脱炭素化に向けた包括連携協定の締結式が9月29日、内子町役場で行われました。「ゼロカーボンシティうちこ」の実現のため、町内企業の脱炭素経営の推進、ICT技術の活用など、相互に連携して取り組むためのものです。小野植正久（まさひさ）町長は「再生可能エネルギー普及など、脱炭素化の取り組みは町の発展に広く役立つ」と期待を述べ、同社四国支店長の熊崎裕亮（ゆうすけ）さんは「この協定は大事な一歩。皆さんと積極的に取り組みたい」と応えました。



町の発展を願い、力強く握手する熊崎支社長（右）と小野植町長

## 歴史ある舞台を残すために
## 芝居小屋の未来を語るサミット開幕

「第30回全国芝居小屋会議内子座大会」の一事業として、「全国芝居小屋サミット」が9月26日、内子自治センターで開かれました。施設の保存・修理と活用について、全国の関係者が事例を発表。約5年間の修理工事を行った熊本県・八千代座では工期中に見学会を行うなど、定期的な情報発信の重要性を訴えました。参加者からは「芝居小屋は活用しなければ、守る意味はない」「多世代交流の場所。昔の人の思い出も、次世代へつなぐための力になる」と、熱い意見が寄せられました。



内子町からは徳田幸治（こうじ）さんが「楽しさを伝え、活用へ」と呼びかけた

## 最高の記録を目指し、その一瞬にかける
## 喜多郡小学校陸上競技大会

「令和8年度喜多郡小学校陸上競技大会」が10月8日、内子運動公園で開かれました。町内7校から延べ193選手が出場。男女7種目で競技に挑みました。開会式では小田小学校の亀岡千愛（ちあ）さんが「自己ベストを目指して、支えてくれた人への感謝を胸に、正々堂々と競技します」と選手宣誓。懸命に競う選手に向けて、応援の児童や保護者から温かい声援が送られていました。

各種目の優勝者と記録は下記の通りです。

| 種目名 | | 氏　名 | 記　録 |
|---|---|---|---|
| 60メートル走 | 男子 | 高岡　颯将（そうすけ）（内子） | 9秒0 |
| | 女子 | 福岡　愛莉（あいり）（内子） | 9秒0 |
| 100メートル走 | 男子 | 上田　凱心（かいしん）（天神） | 14秒4 |
| | 女子 | 福岡　愛莉（内子） | 14秒7 |
| 60メートルハードル | 男子 | 宮岡丈蒔郎（じょうじろう）（立川） | 10秒4 |
| | 女子 | 後藤　とあ（天神） | 11秒1 |
| 走り幅跳び | 男子 | 宮岡丈蒔郎（立川） | 4メートル01 |
| | 女子 | 和氣　実咲（みさき）（天神） | 3メートル25 |
| 走り高跳び | 男子 | 上田　凱心（天神） | 1メートル40 |
| | 女子 | 亀岡　千愛（ちあ）（小田） | 1メートル23 |
| ソフトボール投げ | 男子 | 大森　大音（やまと）（天神） | 53メートル16 |
| | 女子 | 大塚　咲蘭（さくら）（天神） | 42メートル01 |
| 400メートルリレー | 男子 | 天神小学校 | 1分0秒6 |
| | 女子 | 天神小学校 | 1分1秒3 |

（敬称略）









1＿堂々と選手宣誓をする亀岡さん　2＿400メートルリレーで次の走者にバトンを託す大瀬小・石畳小の選手たち。最後まで頑張れ　3＿次々とハードルを越えて、ゴールを目指す　4＿力強い跳躍に砂が舞う。果たして結果は――

## 大江文学に現れる「谷間」にて
## 大瀬中と高昌寺で味わう文楽の魅力

「内子The（ザ）文楽公演」が10月17・18の両日、町内2会場で開かれました。

17日は大瀬中学校音楽ドームで『関寺小町（せきでらこまち）～花競四季寿（はなくらべしきのことぶき）より』が上演されました。年老いた小野小町がかつての華やかな暮らしを懐かしむ物語。西予市出身の人形遣いで人間国宝の吉田和生（かずお）さん、太夫の豊竹藤太夫（とうだゆう）さん、三味線の鶴澤燕三（えんざ）さんら豪華出演者が生み出す至芸を、270人の来場者が満喫しました。また関連行事として、同校を設計した建築家に関する講話「原広司（ひろし）の世界～この谷間の学び舎で～」を開催。講師で國學院大學教授の吉見俊哉（しゅんや）さんは「原建築には、友人である大江健三郎（けんざぶろう）さんの文学と同じく『谷間』がある。過去を振り返る場所として表現したのではないか」と解説しました。





上＿音楽ドームでは初めての人形浄瑠璃文楽公演
下＿吉見さんの新しい視点や示唆に富む講話